

公立大学法人熊本県立大学 中期目標・中期計画（素案）概要

【期 間】平成18年4月1日～平成24年3月31日までの6年間

中期目標の主な内容（抜粋）

- 教 育（学士課程）
 （－１） ・幅広い視野や課題探求能力を身につけるため、教養教育と専門基礎教育の重視、充実(P3)
 ・社会への関心や職業観を身につけ、学習への動機付けとなる教育の実施。(P6)
- （大学院課程）
 ・大学院における高度職業人の育成、研究者の養成、社会人の再教育(P7)
- 研 究
 （－２） ・学際的研究や基礎研究、地域課題解決に寄与する研究活動の推進(P9)
 ・研究水準の確保・維持(P9)
 ・研究活動の評価・改善(P10)
- 地域貢献
 （－３） ・県政、市町村行政の支援(P11)
 ・地域、産業界との連携強化(P11)
 ・県民の生涯学習ニーズへの対応(P12)
- 国際交流
 （－４） ・異文化理解、グローバルな視点の育成(P13)
 ・研究者交流、国際共同研究等の推進(P13)
- 学生生活
 支 援
 （－５） ・大学運営への学生意見の反映(P13)
 ・学生相談体制の整備(P14)
 ・就職支援事業の充実(P14)
- 業務運営
 の改善
 （ ） ・迅速な対応が可能で、権限、役割と責任の所在が明確な組織体制の整備(P15)
 ・学外者の積極的な参画(P15)
 ・事務の効率化・合理化(P15)
- 財務内容
 の改善
 （ ） ・自己収入の増加(P16)
 ・効率的な運営による経費の抑制(P16)
- 自己点検
 評 価
 （ ） ・自己点検の充実及び外部評価結果の活用(P17)
- 情報
 の提供
 （ ） ・大学に関する情報の積極的な公表(P17)

中期計画の主な内容（抜粋）

- 教 育（学士課程）
 （－１） ・英語教育、情報教育の充実(P4,P5)
 ・地域課題解決と教育を結びつけた地域研究教育を充実((P5)
 「もやいすと」育成プログラムの確立、フィールドワークの充実、「新熊本学」の充実等
 ・学年、学部に応じたキャリア教育の充実(P6)
 ・GPA制度活用による学生の「質」の確保(P6)
 ・授業評価アンケートの活用、FDの充実による教育の「質」の向上(P8)
 ・全学のカリキュラム管理・運営について権限、責任を有する体制の整備(P8)
- （大学院課程）
 ・社会人の受け入れを積極的に行うため、昼夜開講の実施(P3)
 ・アドミニストレーション研究科に「看護管理コース」新設(P7)
- 研 究
 （－２） ・特徴ある研究への研究費の重点配分(P9)
 ・科研費等への全教員の申請を目標(P9)
 ・学部毎の研究成果発表の目標設定(P9)
- 地域貢献
 （－３） ・県、市町村等との連携による地域課題の解決支援(P11)
 ・食の安全安心、食育等の県政の重要課題での連携強化(P11)
 ・教員1人あたり一科目の授業公開講座の開講、県内企業や団体職員を対象とした研修プログラムの開発(P12)
 ・高校教育と大学教育双方の改善充実のための高大連携の推進(P12)
 ・「熊本県立大学地域交流センター」の体制充実(P12)
- 国際交流
 （－４） ・交流内容の充実、改善(P13)
- 学生生活
 支 援
 （－５） ・学生意見の収集(P13)
 ・専任カウンセラー等の人的体制の改善(P14)
 ・就職支援センターの機能充実(P14)
- 業務運営
 の改善
 （ ） ・理事長、学長の権限と責任の明確化を行い、その補佐体制を整備する。(P15)
- 財務内容
 の改善
 （ ） ・科研費等の外部資金獲得のため全教員申請を目標(P16)
- 自己点検
 評 価
 （ ） ・自己点検評価及び評価のためのシステム及び評価実施体制の定期的な改善、見直し(P17)
 ・評価結果を基に年次計画の作成、段階的な改善、次期中期計画への反映(P17)
- 情報
 の提供
 （ ） ・広報活動の体制の充実(P17)